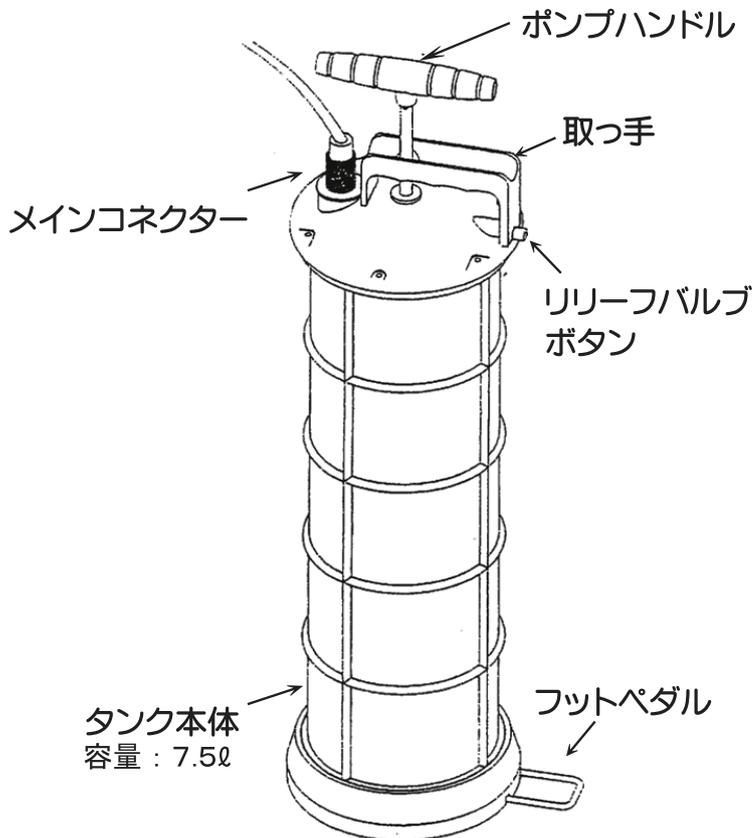
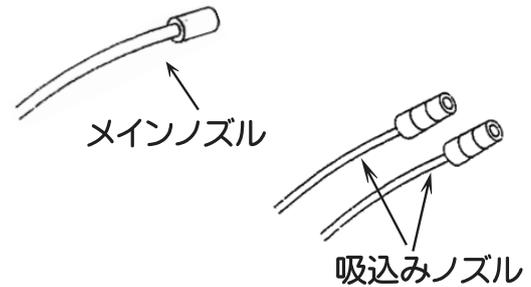


〈本製品の特徴〉

- 本体内部の空気を排出し、真空にすることでオイルを抽出します。
- 本体内部にフロートが入っているため、オイルがタンクいっぱいになると自動で抽出が止まります。
(オイルが溢れ出すことはありません。)



※ポンプハンドルを取っ手から引き上げ
90度回転させてから使用して下さい。



メインノズル：10Φ×1000mm
吸込みノズル：6Φ×840mm
7Φ×840mm

〈使用方法〉

1. エンジン側のオイルゲージを抜き取って下さい。
2. オイルゲージの穴径に合う吸込みノズルを選択して下さい。
3. メインコネクターを本体に取付けて下さい。
4. メインコネクターにメインノズルを接続して下さい。
5. 選択した吸込みノズルとメインノズルを接続して下さい。
6. フットペダルを踏み、ポンプハンドルを一番上まで上げて、上下に10～20回ポンピングすればオイルが抽出され始めます。オイル抽出中はポンピングし続ける必要はありませんが、吸い足りない場合は再度ポンピングして下さい。
7. 作業終了時、又はタンク内にオイルがいっぱいになった時はリリーフバルブボタンを押して圧を抜いて下さい。
8. 本体からノズル、メインコネクターを取りはずし、オイルを排出して下さい。

〈ご使用上の注意〉

1. エンジンオイルを抜き取る場合は、車体が水平であることを確認して下さい。
2. 冷えきったオイルではうまく抜けない場合がありますので、5分間ぐらい暖気運転をして下さい。
3. 走行直後の場合はオイルが高温になっているため、油温が80℃以下になるまでご使用にならないで下さい。(火傷、又は容器の破損等の恐れがあります。)
4. 車種によって使用できない場合があります。
5. 必要以上にポンピングしないで下さい。タンク内圧が下がりすぎて、タンクが破損する場合があります。
6. ガソリン等の揮発性の物には使用できません。